

平成 30 年度 後学期
お茶の水女子大学 生活科学部 特別設置科目のご案内
(社会人プログラム)

後学期は、集中講義で 2 科目が開講されます。

【後学期】

集中講義： 乳幼児の世界 I (1 単位)

集中講義： 乳幼児教育論 V (1 単位)

乳幼児の世界 I (科目コード 1800167) 1 単位

集中講義 12 月 22 日(土)、1 月 12 日(土)

担当：宮里暁美 (お茶の水女子大学人間発達教育科学研究所 教授

・文京区立お茶の水女子大学こども園園長)

主題と目標

「子どもの世界の探究と理解」を主題とし、子どもの姿について画像や絵本、実体験を通して「育ちの実際」について検討する。本大学内にあるこども園の保育室で学びの時間を持ち、「子どもが感じていることを感じる」「遊ぶ」という体験を通して理解を深めていく。

子どもの姿、受講者自身の体験、文献からの学び等を通して得た理解を基盤に、豊かで確かな育ちを支える保育を構築する手がかりを得ることを目標とする。

受講条件・その注意

現在乳幼児教育や学校教育に携わっている方、将来乳幼児教育に携わりたいと考えている方、乳幼児教育に関心のある方を対象とした内容です。

授業の形態

■講義 ■討論 □講読 □実験 □実習 ■実技 □発表 ■演習

教科書・参考図書

授業で紹介する。適宜レジュメや資料を配布する。

評価方法・評価割合

- 小論文 (レポート) (割合：50%)
- 発表 (割合：30%)
- 授業への参加態度 (割合：20%)

授業日程・授業計画

12 月 22 日 (土) ①9:00-10:30 ②10:40-12:10 ③13:20-14:50 ④15:00-16:30

子どもの世界の探究と理解 (1)

- ① 0～5 歳児の姿 (画像) から見える世界について語り合う
- ② 保育者の姿 (画像) や記録からとらえられる世界について語り合う
- ③ ワークショップ「感じる世界を感じる」：カラダ・素材・自然
- ④ 体験のまとめ「感じる」窓から見える子どもと私の世界

1月12日(土) ①9:00-10:30 ②10:40-12:10 ③13:20-14:50 ④15:00-15:45

子どもの世界の探究(2)

- ① 絵本の中に描かれている子どもの姿の検討
- ② 絵本の中に描かれている子どもの姿から、子どもの世界を探究
- ③ ワークショップ「遊ぶ世界を遊ぶ」: 遊具・人間関係・イメージ
- ④ 体験のまとめと「遊ぶ」窓から見える子どもと私の世界

教室 本館1階128/ お茶大こども園

時間外学習

初回授業の際ご連絡いたします。

学生へのメッセージ

保育の実際について、語り合い学び合う機会になればと願っています。受講者の皆さんと作り上げる授業にしていきます。

乳幼児教育論Ⅴ（科目コード 18O0165） 1 単位

集中講義 10月13日(土)、10月27日(土)、**11月10日(土)に変更になりました、11月24日(土)**

担当：守随香（共立女子大学 家政学部児童学科 教授）

主題と目標

雑誌『幼児の教育』バックナンバー（1990年以降のもの）の、保育者の執筆した記事から自分の関心に合うものを選び、購読する。同誌は1901年の発刊以来、現職保育者や研究者、保育学生に読まれ続けてきた専門誌であり、保育の時代性を読み取る資料としても秀逸である。各自が選んだ記事から、1990年以降の「子育てを支援する時代」の保育について考察を深めると共に、保育者の書くエピソードの意義について考えあうことを目的とする。

受講条件・その注意

特になし。

授業の形態

講義 討論 講読 実験 実習 実技 発表 演習

教科書・参考図書

『幼児の教育』（1990年～）

評価方法・評価割合

- 小論文（レポート）
- 授業への参加態度

授業日程

日程 10月13日(土)、10月27日(土)、11月24日(土)

時間 10月13日(土) 13:00～17:40（10分休憩2回）

~~10月27日(土)~~**11月10日(土)に変更になりました**

9:30～12:30（10分休憩1回）

11月24日(土) 13:00～17:40（10分休憩2回）

教室 本館1階128

授業計画

- ① 子育て支援が我が国の重要な課題となった背景（講義）
- ② 記事選びと関心テーマの発表
- ③ 選んだ記事の発表とまとめ
- ④ 同上
- ⑤ 保育者の書くエピソードは何を伝え得るか（講義とディスカッション）

時間外学習

授業で購読した記事を別の視点で読み返してみる。

学生へのメッセージ

子育てを支援する時代の子どもの育ちについて学び、保育現場における子育て支援とはどのようなことを指すのか、共に考えましょう。